

## 事業の概況

### ■ 預金

預金は、半期中72億77百万円増加し、中間期末残高は5,016億97百万円となりました。このうち普通預金は、期中116億53百万円増加し、中間期末残高は3,304億3百万円となりました。

### ■ 貸出金

貸出金は、半期中8億38百万円増加し、中間期末残高は278億21百万円となりました。これらはすべて個人向け貸出金であります。

### ■ 有価証券

有価証券は、半期中574億51百万円増加し、中間期末残高は4,192億76百万円となりました。

### ■ 損益の状況

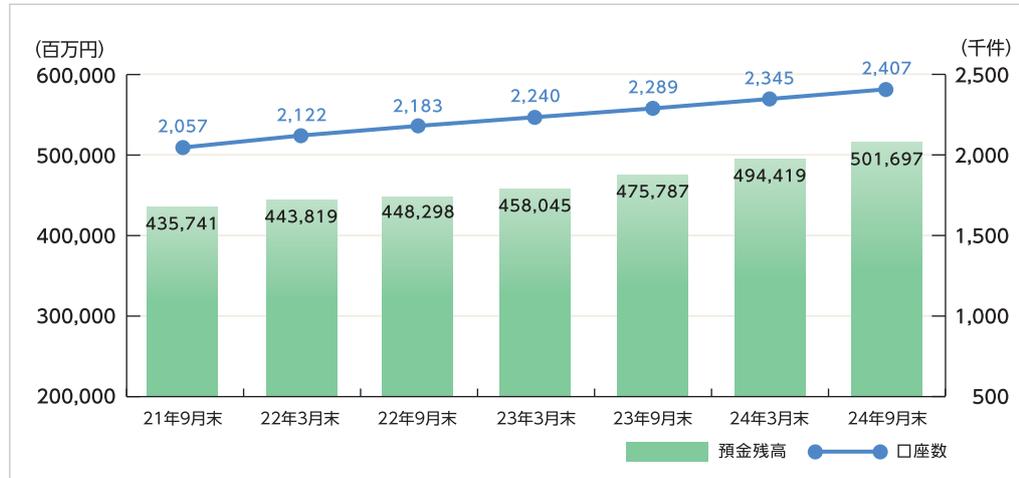
収益につきましては、貸出金残高の堅調な増加に伴い、貸出金利息が増加いたしました。一方で、市場金利の低位推移により、資金運用収益は減少いたしました。役務取引等収益は、口座維持手数料の廃止により減少いたしました。また、低金利環境下において国債等債券売却益は増加したものの、外国為替相場の変動幅縮小によるFX取引高減少により、その他業務収益は減少いたしました。

これらにより経常収益は前中間期比3億87百万円減少し、90億17百万円となりました。費用につきましては、預金金利の引き下げにより資金調達費用が減少いたしました。また、株式等売却損の減少により、その他経常費用が減少いたしました。

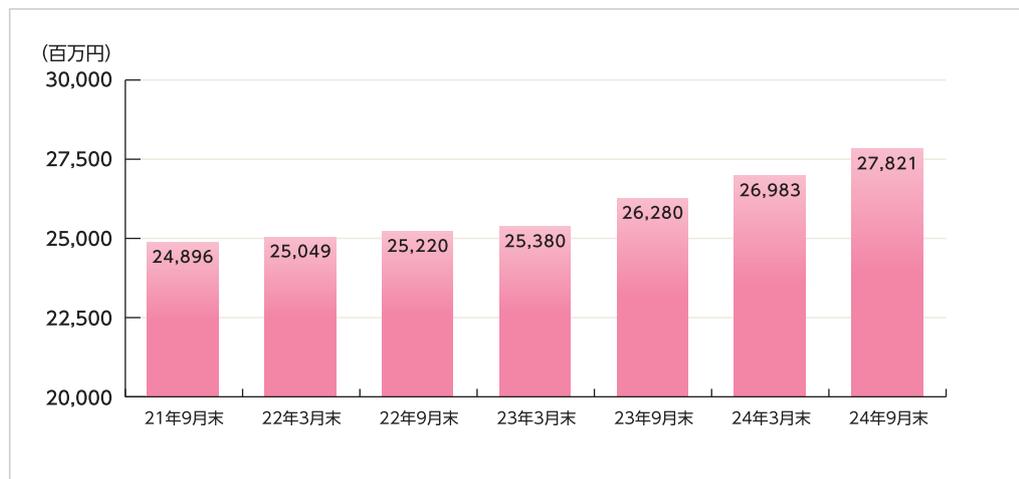
これらにより、経常費用は前中間期比1億29百万円減少し、81億11百万円となりました。このほか、システム機器更改に関連した固定資産処分損98百万円、法人税等2億36百万円を計上いたしました。

以上の結果、当中間期の経常利益は9億5百万円、中間純利益は5億3百万円となりました。

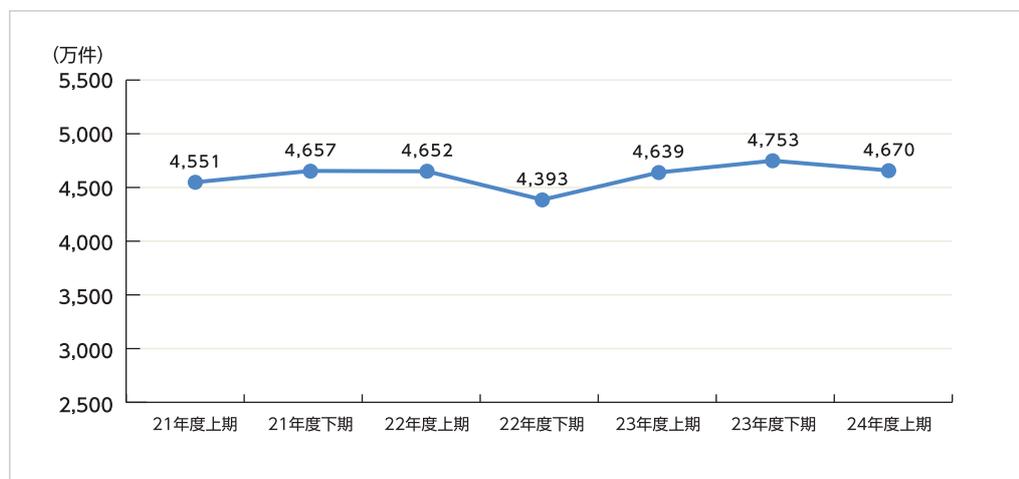
### ■ 預金残高と口座数の推移



### ■ 個人向けローン残高の推移



### ■ ネット決済件数\*の推移



\*通常の振込とXMLを利用した即時決済取引、toto関連決済取引およびワンタイムデビット決済の合計件数